キリル文字入力のセットアップ

UENO Toshihiko, Professor of Russian Politics
Department of Russian Studies, Sophia University
e-mail: uenot_gosudarstvo@yahoo.co.jp; URL: http://www.geocities.jp/collegelife9354/index.html

1. キリル文字入力のためのコンピュータのセットアップの方法

1.1. WindowsVista

①「スタートボタン」をクリックする。
②メニューの「コントロールパネル」をクリックする。
③「キーボードまたは入力方法の変更」をクリックして、「地域と言語のオプション」ダイアローグを表示させる。
④「地域と言語のオプション」ダイアローグの「キーボードと言語」のタブを選択する。
⑤「キーボードの変更（C）…」ボタンをクリックして、「テキストサービスと入力言語」ダイアローグを表示させる。
⑥「テキストサービスと入力言語」ダイアローグの「全般」タブを選択する。
⑦「追加（D）」ボタンをクリックして、「入力言語の追加」ダイアローグを表示させる。
⑧「入力言語の追加」ダイアローグの「チェックボックス」から「ロシア語」を選択してチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックする。
⑨「テキストサービスと入力言語」ダイアローグの「インストールされているサービス（I）」のボックスに右の表示が出ていることを確認する。

RU ロシア語（ロシア）
└ キーボード
　└ ・ロシア語

⑩「OK」ボタンをクリックして、「テキストサービスと入力言語」ダイアローグを閉じる。
⑪「OK」ボタンをクリックして、「地域と言語のオプション」ダイアローグを閉じる。
⑫「コントロールパネル」を閉じる。
⑬入力文字は「左 Alt＋Shift」で、日本語入力→ロシア語入力→日本語入力、と変更される。

1.2. WindowsXP

①「スタートボタン」をクリックする。
②メニューの「コントロールパネル（C）」をクリックする。
③「地域と言語のオプション」をクリックして、「地域と言語のオプション」ダイアローグを表示させる。
④「地域と言語のオプション」ダイアローグの「言語」のタブを選択する。
⑤「詳細（D）…」ボタンをクリックして、「テキストサービスと入力言語」ダイアローグを表示させる。
⑥「テキストサービスと入力言語」ダイアローグの「設定」タブを選択する。
⑦「追加（D）」ボタンをクリックして、「入力言語の追加」ダイアローグを表示させる。
⑧「入力言語の追加」ダイアローグの「入力言語（I）」のボタンをクリックして、一覧から「ロシア語」を選択して、「OK」ボタンをクリックする。
⑨「テキストサービスと入力言語」ダイアローグの「インストールされているサービス（I）」のボックスに右の表示が出ていることを確認する。

RU ロシア語（ロシア）
キーボード
　・ロシア語

⑩「OK」ボタンをクリックして、「テキストサービスと入力言語」ダイアローグを閉じる。
⑪「OK」ボタンをクリックして、「地域と言語のオプション」ダイアローグを閉じる。
⑫「コントロールパネル」を閉じる。
⑬入力文字は「左 Alt＋Shift」で、日本語入力→ロシア語入力→日本語入力、と変更される。

2. スクリーンキーボードの表示

画面上にスクリーンキーボードを表示して、それを見ながら、キリル文字を入力したり、スクリーンキーボード上のキーを直接マウスでクリックして文字を入力したりする方法がある。

スクリーンキーボードは以下の方法で画面上に表示することができる。

2.1. WindowsVista

①「スタートボタン」をクリックする。
②メニューの「コントロールパネル」をクリックする。
③「コンピュータの簡単操作」をクリックする。
④「コンピュータの簡単操作センター」をクリックする。
⑤「スクリーンキーボードを開始します（K）」をクリックすると、画面上にスクリーンキーボードが表示される。

2.2. WindowsXP

①「スタートボタン」をクリックする。
②メニューの「すべてのプログラム（P）」、「アクセサリ」、「ユーザー補助」の順にポイントし、「スクリーンキーボード」をクリックすると、画面上にスクリーンキーボードが表示される。

3. 汎用キーボードをキリル文字キーボードに改造する方法

3.1. デスクトップコンピュータ

デスクトップコンピュータの場合は、キーボードのキーの厚みがあるので、キーの手前部分に、キリル文字シールを貼る。シールは、キーの手前部分に貼ったほうが、キートップに貼るよりもはがれにくい。

シールは、白色系キーボードには、フィルムラベル（透明）、黒色系キーボードには、フィルムラベル（白無地）を使用して、キリル文字を印刷し、ハサミ等で小片に切って、キーボードに貼り付ける。

3.2. ノートブックコンピュータ

ノートブックコンピュータの場合は、キーボードのキーの厚みがないので、キリル文字シールを貼るとすれば、キートップに貼るしかないが、はがれやすいという欠点がある。

カバーを掛けたままでキータイピングができる薄いビニル製のキーボードカバーが市販されているので、そのキーボードカバーの各キーに相当する部分に、油性サインペンなどでキリル文字を書き込む方法もあるが、使いやすいとは言えない。

乱暴な方法だが、キーボードのキートップに油性サインペンなどで直接キリル文字を書き込む方法があるが、共有のコンピュータなどではできないし、またできたとしても美しいとは言えない。